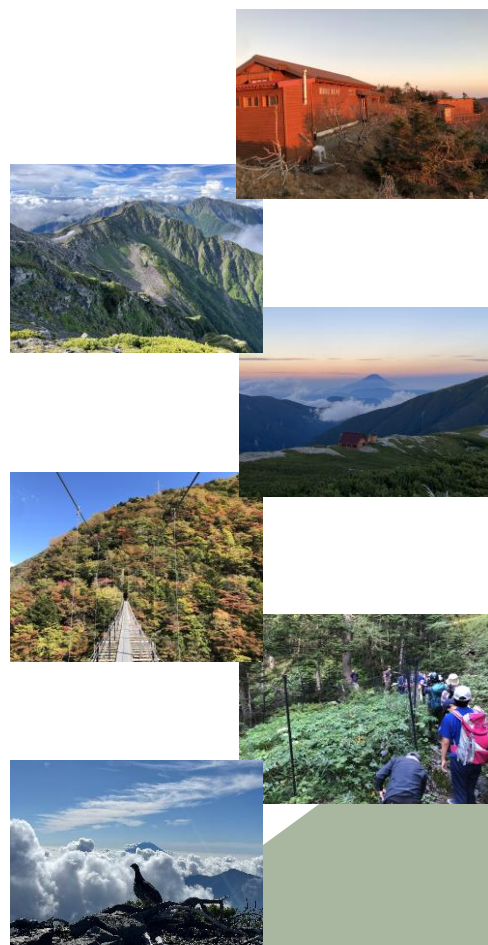


一般財団法人

南アルプスみらい財団

Minami-Alps Mirai Foundation

概 要



取組方針

南アルプスユネスコエコパーク憲章と 世界ユネスコエコパークの機能を捉え 保全と活用につながる協力の輪を広げます

2014年6月にユネスコエコパークに登録された南アルプスは、世界の南限とされる動植物や氷河期からの遺存種など、守るべき希少な動植物が息づく豊かな自然環境を有する、世界に認められた財産です。

ユネスコエコパーク登録を受けて制定された南アルプスユネスコエコパーク憲章では、「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性」という理念のもと、これらの地域資源を共有の財産として未来へ受け継ぐため、持続可能な利活用にとともに取り組み、地域の交流をひろげながら、自然の営みを活かした魅力ある地域づくりを進めていくことが決意されました。



南アルプスみらい財団では、この憲章に込められた想いと、世界ユネスコエコパークが定める「生物多様性の保全」「学術的研究支援」「周辺で生活する人々の経済と社会の発展」の3つの機能の強化を基本理念とし、多くの方々に、南アルプスの素晴らしい自然環境に関する理解を深めていただき、また、関係する様々な方々と連携・協働し、自然環境の保全と利活用に関する協力の輪を広げていきます。



この取組を進めるに当たっては、研究者などとの連携により、科学的知見に基づきながら、自然環境の保全と利活用の好循環を生み出す取組を進め、次代を担う世代へ、より良い形で南アルプスの自然環境を引き継ぐことを目指していきます。



財団の概要

所在地	事務所：静岡県駿河区大谷5762 現地拠点：静岡市葵区田代 南アルプス自然ふれあいセンター内
形態	一般財団法人
基本財産	300万円（静岡県が全額出資）
組織体制	・役員等：評議員5名、理事6名、監事1名 ・事務局：事務局長、企画総務課長、レンジャー、事務員
設立日	令和4年7月19日
主な事業内容	① 情報収集及び提供に関する事業 ② 自然環境の保全に関する事業 ③ 関係団体等との連携及び支援に関する事業 ④ 普及啓発に関する事業 ⑤ 人材の育成に関する事業 ⑥ その他この法人の目的を達成するために必要と認められる事業

財団は、「知る」、「守る」、「活かす」、「広げる」の各活動に取り組めます。

知る

現場巡視及び調査事業

ー 現地の今を知る
価値を再発見するー

○南アルプスのパトロールの実施

- ・ 登山道や山小屋、植生、動物痕跡に係る調査
- ・ ふもと地域での意見交換

○情報の提供

- ・ パトロールで得た情報を関係者に提供



財団現地拠点（樫島ベース）



守る

自然環境保全事業

ー 守る取組を続ける
取組の輪を広げるー

○高山植物保全対策の実施

- ・ 植生モニタリングや防鹿柵整備の実施

○「高山植物種子保存プロジェクト」支援

- ・ 静岡県と連携して、高校生のプロジェクトを支援

○「お花畑みまもりプロジェクト」の実施

- ・ 登山者も参加できる植生モニタリングの仕組の構築



4 本柱の 取組

活かす

利活用促進事業

ー 一人が関わるほどに環境が
豊かになる仕組の構築ー

○南アルプスユネスコエコパーク登録10周年 記念事業等現地活動型イベントの開催

- ・ R6において、南アルプスを源流とする
大井川一帯で活動型イベントを開催

○交流人口拡充の促進

- ・ 環境貢献につながるツアーの造成
- ・ 山に親しむすそ野を広げる親子ツアー等の造成
- ・ インバウンド向けツアー等の、地域の新しい
価値の創出



広げる

普及・啓発事業

ー 魅力や価値を伝える
手を取りあうー

○南アルプスの情報の発信

- ・ SNS等を活用した現地情報の発信



○南アルプスのファンづくり

- ・ ふもと地域や市街地で対面交流型の魅力発信

○環境教育の実施

- ・ 教育機関等を通じた環境教育の実施



役員等

理事長	戸野谷 宏	静岡ガス株式会社 特別顧問
理事	佐藤 洋一郎	ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長
理事	藺田 靖邦	川根本町長
理事	大村 博	静岡市環境局長
理事	山崎 宏	NPO法人ホールアース自然学校 代表理事
専務理事	田島 章次	一般財団法人南アルプスみらい財団事務局長
監事	平岡 直子	平岡直子税理士事務所
評議員	縣 茂樹	静岡県くらし・環境部長
評議員	神戸 重敏	公益社団法人静岡県観光協会 専務理事
評議員	溝口 康博	はごろもフーズ株式会社 常勤監査役
評議員	山下 昭典	公益財団法人イオン環境財団 監事
評議員	吉崎 真司	東京都市大学名誉教授

事務局

所在地	〒422-8017 静岡県静岡市駿河区大谷5762 ふじのくに地球環境史ミュージアム 3階
アクセス	《自家用車》 ○東名高速道路「日本平久能山スマートIC」から5分 ○東名高速道路「静岡IC」から15分 ○JR静岡駅から20分 《公共交通機関》 ○静岡駅北口バスターミナルから約30分 (美和大谷線「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き)
電話	054-238-2270 (代表)
F A X	054-238-2275
E - m a i l	mirai@mamf.or.jp
U R L	https://www.mamf.or.jp



財団ホームページは
こちらから

